



あすなろ



わたしたちが主役

校長 鈴木 華奈子

今年度の委員会、初顔合わせの日。まずは、この委員会で「何のために」「何をやるのか」話し合っていきます。

新年度が始まってすぐ、6年生は昨年度その委員会だった人に同行し、日頃の活動を見て・聞いて・一緒にやりながら引き継いでいました。「何をやるのか」は自分が実際にやって引き継いだ内容です。その内容の具体や気を付けること等を伝えていきます。次は、「何のために」です。話し合っていくと、「全校のみんなが気持ちよく…」「みんなが健康に…」等、「みんな」という言葉が繰り返し聞こえてきます。自分たちの委員会のミッションを楽しそうに確認し合います。また、分担を決める時は「これ、好きなんだ。」とその仕事自体を楽しみにする子も…。



委員会での子どもたちの姿から“4人のレンガ職人”の話思い出しました。

ある町で大聖堂を建設することになりました。4人のレンガ職人がレンガを積みあげる仕事に励んでいました。ある人がその見事な仕事ぶりに感心して尋ねます。「あなたは、何のためにこの仕事をしているのですか？」4人はそれぞれ答えます。

1人目のレンガ職人は「家族養うためにレンガを積みます。」彼はいつも家族の笑顔と生活を守る喜びでいっぱいでした。

2人目のレンガ職人は「職人としての名声を得るためにレンガを積みます。」彼は常に高みを追い求め、心は将来への期待で膨らんでいました。

3人目のレンガ職人は「人々の感動と希望のためにレンガを積みます。」彼はこの大聖堂が人々の心を癒し、希望をもたらす場所になることに喜びと誇りを感じていました。

そして4人目のレンガ職人は「レンガを積むこと自体が楽しいからです。」彼は、レンガそれぞれのさわり心地や積みあげる音に心地よさと喜びを感じていました。

それぞれの職人は、仕事の目的や過程に“誰かの幸せ”がありそれが喜びを生んでいること、喜びを得ながら取り組む仕事は同じ仕事でも人の心を動かすこと、そして4人がそれぞれの仕事の主役になっていることが印象に残った話でした。

第1回児童朝会は委員会紹介でした。全校の前で、自分たちの委員会をアピールします。どの委員会からも「何のために」が笑顔で語られていきます。“わたしたちが主役”という輝きがある頼もしい発表でした。これからの活動が楽しみです。

委員会をはじめ、すべての燕東小「子どもファースト」の教育活動では、子どもたち自身が「何のために」を意識し、自分たちで考え自分たちで進めていく喜びを実感していけるよう取り組んでまいります。“わたしたちが主役”で輝く東っ子を引き続き応援くださいますようお願いいたします。

<< 令和6年度 燕東小学校重点3部会の取組紹介 >>

学力の向上について

学力向上部主任



表現力の育成

燕東小では、児童の表現力育成のため、今年度も、「書く」活動と「話す」活動を重視していきます。「書く」活動では、「学びのアカモン」と題した振り返りの視点を与え、新しく学んだ言葉を正しく文章に表せるようにする「OUTPUT 重視の学習」（思考するノート作り）に取り組みます。「話す」活動では、適切な話し方・聴き方ができるよう、掲示物や「東っ子の学び方」を用いたモデルを示し、全体のレベルアップを図ります。

基礎基本の定着

ドリル学習などの「反復学習」や、「書き写す」などの「INPUT 重視の学習」は、基礎づくりや学びへの自信をもたせるために大切なことであり、今年度も引き続き行っていきます。また、朝学習（「長善タイム」）の時間に、昨年度からスタートした「コグトレ（認知機能トレーニング）」に引き続き取り組んでいきます。クイズ形式で取り組める内容になっており、実施することで、「見る力」「聞く力」「想像する力」といった認知機能を鍛えることができます。コグトレの実施が、学習内容を理解する足掛かりとなるように支援していきます。なお、今年度から全学年でタブレットを用いたオンラインコグトレを実施する予定です。

豊かな心の育成について

豊かな心育成部主任



自己肯定感を高める

今年度の燕東小の児童は205人。子どもたち一人一人みんなによいところがあります。しかし、様子や言動を見てみると、「自分にはいいところなんて…」と思いながら生活している子もいます。そこで、今年度も行事を通して仲間と何かを成し遂げる喜びを味わったり、友達のよいところやがんばりを伝え合ったりするような、“自己肯定感を高める活動”を取り入れます。また、日々の授業や学校生活の中でも、「できた」という思いを積み重ね、「自分にはよいところがある」という思いを感じることで、自分は大切な存在だと感じられるようにします。

他者を理解しお互いを認め合う

他者を理解し認め合うことで、上記のような自己肯定感も高まります。そのため、クラスでは仲間のよいところを見付け、伝え合う活動を取り入れます。異学年交流では、今年度も、1・6年生、2・5年生、3・4年生の「仲良しペア」が集まり、一つの班となって活動する「なかよしあすなろ班」を結成します。清掃活動や遊ぼうデー、各行事などで異学年交流を活性化していきます。活動後にはペア学年のよいところをカードに書き、「あすなろの木」と称する木に貼り出すことで全校のみんなが見られるようにします。また、燕東小の自慢の一つである「心と心をつなぐあいさつ」を継続し、お互いを認め合う温かい仲間をつくっていきます。

体力の向上について

体力向上部主任



運動意欲の向上

燕東小では、これまで体育授業で、「①自分のめあてを達成するために、進んで運動に取り組む子ども」「②めあての達成のために工夫して運動に取り組む子ども」を目指してきました。今年度も①②の取組を継続するとともに、「自分の動きの課題について話し合う」「練習方法の工夫やよりよい動きについて話し合う」「仲間と互いの動きを見合う」活動をとおして、子どもたちが「自ら考える」体育授業を行います。また、ICTを活用した指導についても工夫し、子どもたちの運動技能の向上や意欲の向上を目指していきます。

生活習慣指導（基本的生活習慣・メディアコントロール）

燕東小では、子どもたちの心と体の健やかな成長のために、睡眠とメディアコントロールを中心とした生活習慣指導に取り組んでいます。早寝・早起きの他に、お家の方とメディアコントロールについて話し合い、テレビやゲームの見方や使い方について「お家のルール」作りを行い、「げんきアップ週間」に取り入れています。今年度も、「どうしたらルールを守れるか」など、子どもたち自身が考え、工夫できるように働きかけていきます。また、前回の「げんきアップカード」を振り返りながら、「起床・就寝の目標時刻」や「お家のルール」を見直し、少しでもよりよい睡眠、生活習慣が身につくようにしていきます。ぜひ、ご家庭で睡眠やメディアコントロールの大切さについて話し合ってください。今後とも、子どもたちへの温かい励ましとご協力をお願いします。